

AGON PRO



液晶モニターユーザー
マニュアル
AG344UXM

AOC

www.aoc.com

©2022 AOC. All Rights Reserved

HDMI™

安全	1
表示区分	1
電源	2
設置	3
お手入れ	4
その他	5
セットアップ	6
同梱されているもの	6
スタンドとベースの取付け	7
画面の角度調節	8
モニターを接続する	9
壁取り付け	10
Adaptive-Sync 機能	11
HDR	12
KVM 機能	13
調整する	15
ホットキー	15
クイックスイッチ	16
OSD キーガイド (メニュー)	17
OSD 設定	19
Game Setting (ゲーム設定)	20
Luminance (輝度)	22
PBP Setting (PBP 設定)	24
Color Setup (色設定)	25
Audio (オーディオ)	27
Light FX	28
Extra (その他)	29
OSD Setup (OSD 設定)	31
LED インジケータ	32
トラブルシューティング	33
仕様	34
一般仕様	34
プリセットディスプレイモード	36
ピン割り当て	37
プラグアンドプレイ	38

安全

表示区分

ここでは、本書で用いられる表記の規則について説明します。

メモ、注意、警告

本書を通じて、一部の文が記号を伴い、太字あるいは斜体の文字で表示されています。これらの文章はメモ、注意、あるいは警告であり、次のように使用されます：



メモ：「メモ」は、ご使用のコンピュータシステムの使用に役立つ重要な情報を示しています。




注意：「注意」は機器への破損あるいはデータ損失の危険性を示し、これを防ぐ方法について説明しています。




警告：「警告」は身体への危険性を示し、これを防ぐ方法について説明しています。一部の警告表示はこれら以外の形式で表記され、記号が伴わない場合もあります。そのような場合は、特定の表記による警告表示が監督当局により義務付けられています。


電源

 モニターは、ラベルに示されている電源のタイプからのみ操作する必要があります。家庭に供給されている電源のタイプが分からない場合、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。

 モニターには三叉のアース用プラグ（3番目（アース用）ピンが付いたプラグ）が付属しています。このプラグは、安全機能としてアースされたコンセントにのみ適合します。コンセントが三芯プラグに対応していない場合、電気技術者に正しいコンセントを設置してもらるか、アダプタを使用して装置を安全にアースしてください。アースされたプラグの安全性を無効にしないでください。

 雷が鳴っているときや、長期間使用しない場合は、プラグを抜いてください。これで、サージ電流による損傷からモニターが保護されます。

 電線と延長コードに過負荷をかけないでください。過負荷をかけると、火災や感電の恐れがあります。

 満足のゆく操作性を確保するために、モニターはUL認証済みで100-240V AC、最小5Aの間の表示を持つ適切に設定されたレセプタクルを搭載したコンピュータでのみ使用してください。

 装置はコンセントのそばに取り付け、すぐに電源プラグを抜けるようにしてください。

設置

! モニターを不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、あるいはテーブルの上に設置しないでください。モニターが落下した場合、人体の負傷を招く恐れがあり、また製品に重大な破損を与えることがあります。製造元推奨あるいは当製品と併せて販売されているカート、スタンド、三脚、ブラケット、あるいはテーブルにてご使用ください。製品の設置の際は製造元による使用説明に従い、製造元推奨のマウントアクセサリをご使用ください。カートに製品を乗せている場合、移動の際には特にご注意ください。

! モニターキャビネットのスロットに異物を差し込むことはおやめください。回路部品を破損し、火災あるいは感電を引き起こす恐れがあります。モニターに液体をこぼさないようにしてください。

! 製品の液晶部分を床面に置かないでください。

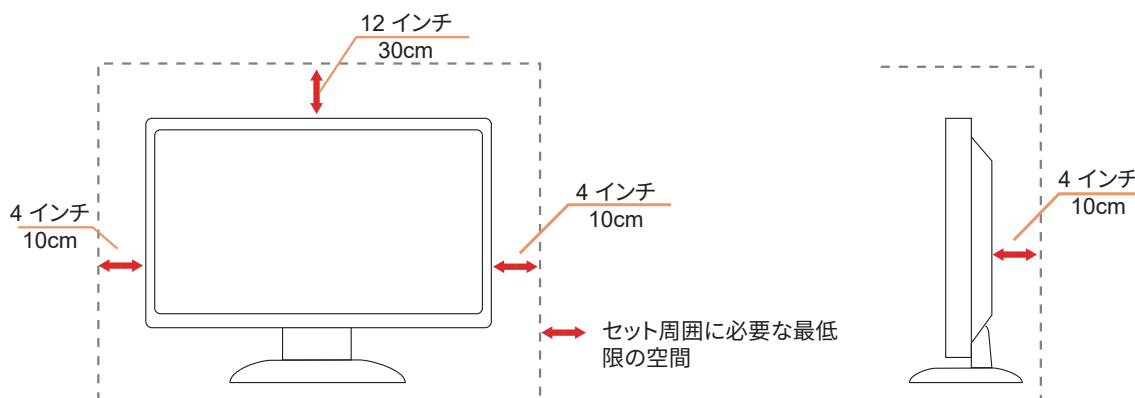
! モニターを壁や棚に取り付ける場合、メーカーが推奨するマウントキットを使用し、キットの指示に従ってください。

! モニター周囲には、下図のように空間を残してください。空間がない場合、通気が悪化し、火災あるいはモニターの損傷につながる場合があります。

! パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。-5度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。

モニターを壁またはスタンド上に取り付ける場合は、下記のモニター周辺の推奨換気エリアを参照してください：

スタンドに取り付けた状態



お手入れ


! キャビネットは常時柔らかい布で掃除してください。強い洗剤を使用すると製品キャビネットが焼灼することがあります。薄めた洗剤を使用して汚れを拭き取ってください。

! 掃除の際は、製品の内部に洗剤が入らないようご注意ください。画面表面に傷をつけないよう、清掃用布は柔らかいものを使用してください。


! 製品を洗淨する前に、電源コードを抜いてください。




その他

 製品から異臭、雑音、煙が発生した場合は、すぐに電源を抜き、サービスセンターまでご連絡ください。

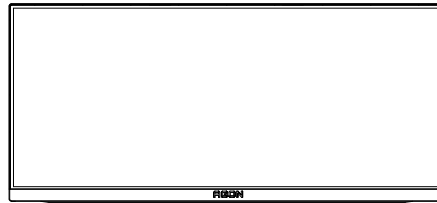
 通気口がテーブルやカーテンなどで遮断されていないことをお確かめください。

 液晶モニターの動作中は、激しい振動や、強い衝撃を与えないでください。

 モニターの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落としたりしないでください。

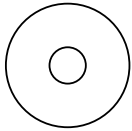
セットアップ

同梱されているもの



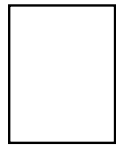
Monitor

*

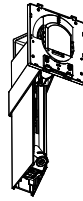


CD Manual

*



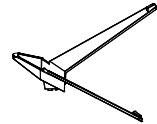
Warranty card



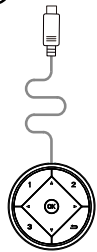
Stand



Screwdriver



Base



Quick Switch Keypad



Power Cable

*



DP Cable

*



HDMI Cable

*



USB Cable

*



USB C-C Cable

*



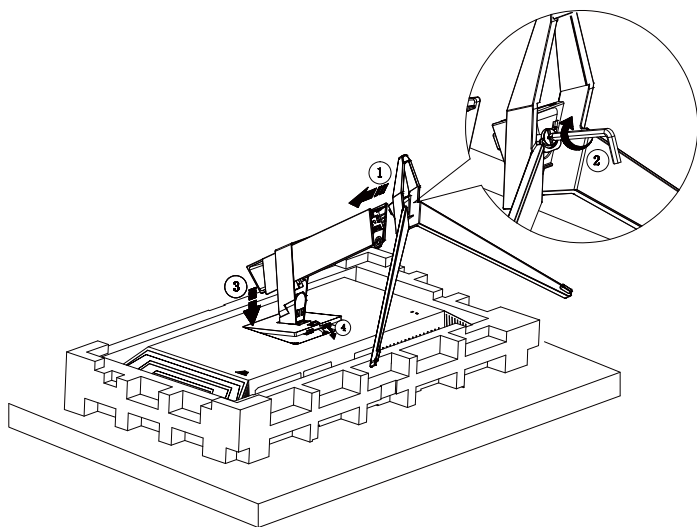
Micphone Cable

*すべての信号ケーブルがすべての国や地域向けに提供されているとは限りません。最寄りの販売店または AOC モニターサポートセンターにお尋ねください。

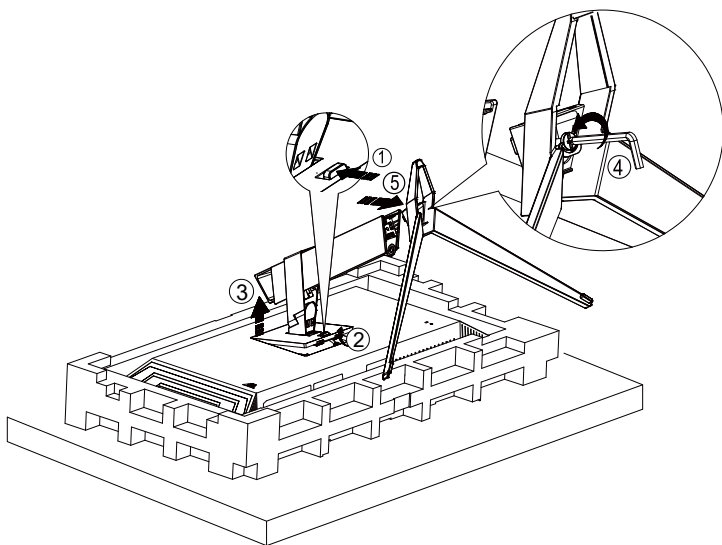
スタンドとベースの取付け

次の手順に従って、ベースの取り付けおよび取り外しを行ってください。

取り付け：



取り外し：

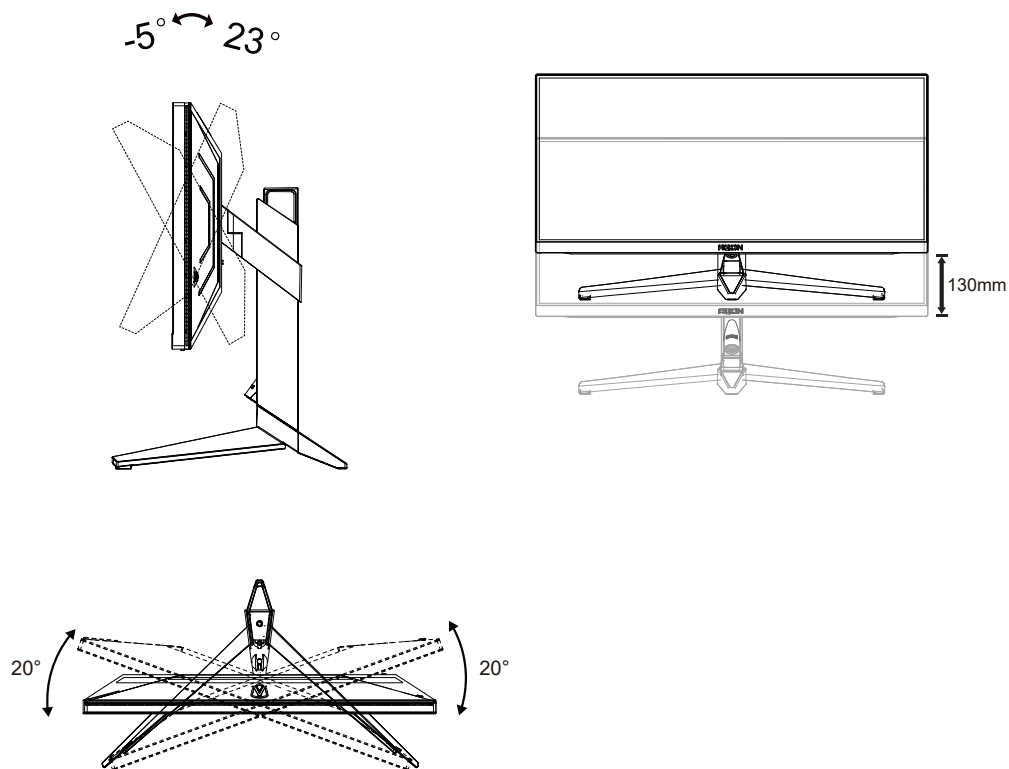


画面の角度調節

最適な表示をお楽しみいただくため、モニターの正面を見て、モニターの角度をお好みに合わせて調整することをお奨めします。

モニターの角度を変える際は、モニターの転倒を防ぐため、スタンド部分を押さえながら行ってください。

モニタは下のよう調整できます。



メモ：

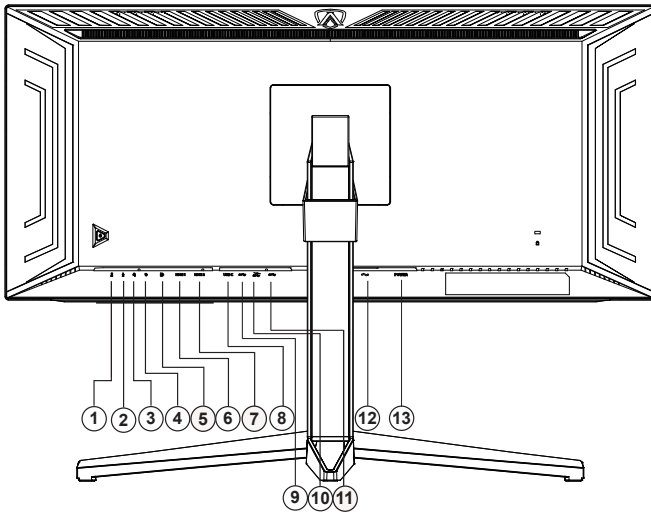
* 角度、向きを調節する場合は、手で液晶パネルを押さえないでください。液晶パネル損傷の原因となります。

警告：

1. パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上上下向きに傾けないようにしてください。
2. ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

モニターを接続する

モニターとコンピュータの背面へのケーブル接続：



1. Microphone out (Connect to PC) マイク出力 (PC に接続)
2. Microphone in マイク入力 (PC に接続)
3. Earphone (Combined with Microphone) イヤホン (マイクロホンと一体)
4. Quick Switch port クイックスイッチキーパッド
5. DP
6. HDMI1
7. HDMI2
8. USB C
9. USB3.2 Gen1 upstream アップ
10. USB3.2 Gen1 downstream + fast charging USB3.2 Gen1 ダウンストリーム + 高速充電
11. USB3.2 Gen1 downstream x2 USB3.2 Gen1 ダウンストリーム x2
12. 電源
13. 電源スイッチ

PC に接続する

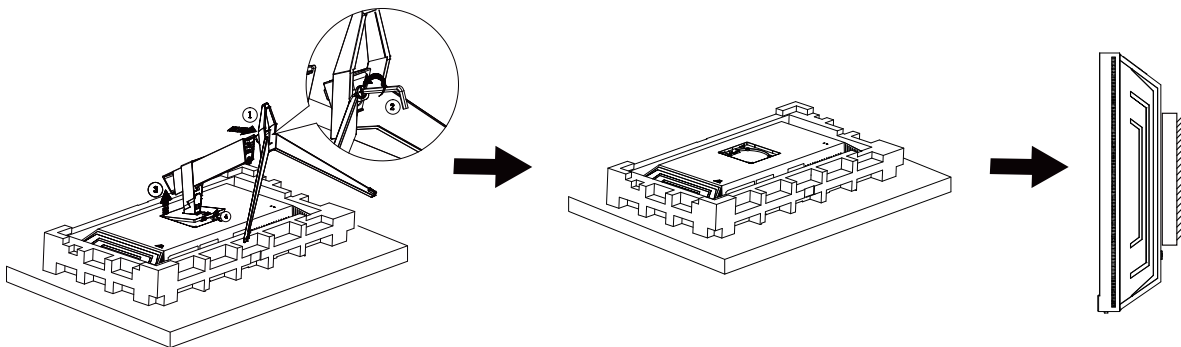
1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。

モニターに画像が表示されたら、取り付けは完了です。画像が表示されない場合、トラブルシューティングを参照してください。

機器を保護するため、接続する前に必ず PC および液晶モニターの電源を切ってください。

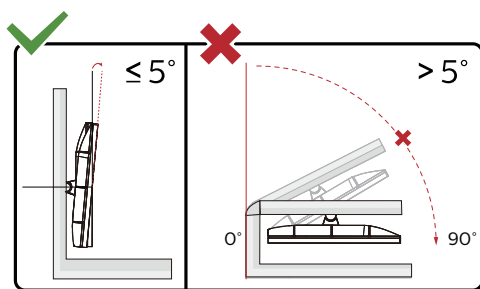
壁取り付け

オプションの壁取り付けアームの準備をします。



本モニターは、別売りの壁面取り付けアームに据え付けることができます。準備をする前に、電源を切断します。次の手順に従います：

1. ベースを取り外します。
2. 製造元の指示に従って、壁面取り付け用アームを組み立てます。
3. 壁面取り付け用アームをモニターの背面に置きます。アームの穴をモニターの背面にある穴と揃えます。
4. ケーブルを取り付け直します。オプションの壁面取り付け用アームに付属しているユーザーマニュアルにある指示に従って、アームを壁に取り付けます。



* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

警告：

1. パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
2. ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

Adaptive-Sync 機能

1. Adaptive-Sync（フリー同期）機能は DP / HDMI/USB C で利用できます。
2. 互換性のあるグラフィックスカード：推奨リストは以下のとおりです。また、www.AMD.com でも確認できます

- グラフィックスカード
- Radeon™ RX Vega series
- Radeon™ RX 500 series
- Radeon™ RX 400 series
- Radeon™ R9/R7 300 series (excluding R9 370/X)
- Radeon™ Pro Duo (2016 edition)
- Radeon™ R9 Nano
- Radeon™ R9 Fury series
- Radeon™ R9/R7 200 series (excluding R9 270/X, R9 280/X)

- プロセッサー
- AMD Ryzen™ 7 2700U
- AMD Ryzen™ 5 2500U
- AMD Ryzen™ 5 2400G
- AMD Ryzen™ 3 2300U
- AMD Ryzen™ 3 2200G
- AMD PRO A12-9800
- AMD PRO A12-9800E
- AMD PRO A10-9700
- AMD PRO A10-9700E
- AMD PRO A8-9600
- AMD PRO A6-9500
- AMD PRO A6-9500E
- AMD PRO A12-8870
- AMD PRO A12-8870E
- AMD PRO A10-8770
- AMD PRO A10-8770E
- AMD PRO A10-8750B
- AMD PRO A8-8650B
- AMD PRO A6-8570
- AMD PRO A6-8570E
- AMD PRO A4-8350B
- AMD A10-7890K
- AMD A10-7870K
- AMD A10-7850K
- AMD A10-7800
- AMD A10-7700K
- AMD A8-7670K
- AMD A8-7650K
- AMD A8-7600
- AMD A6-7400K

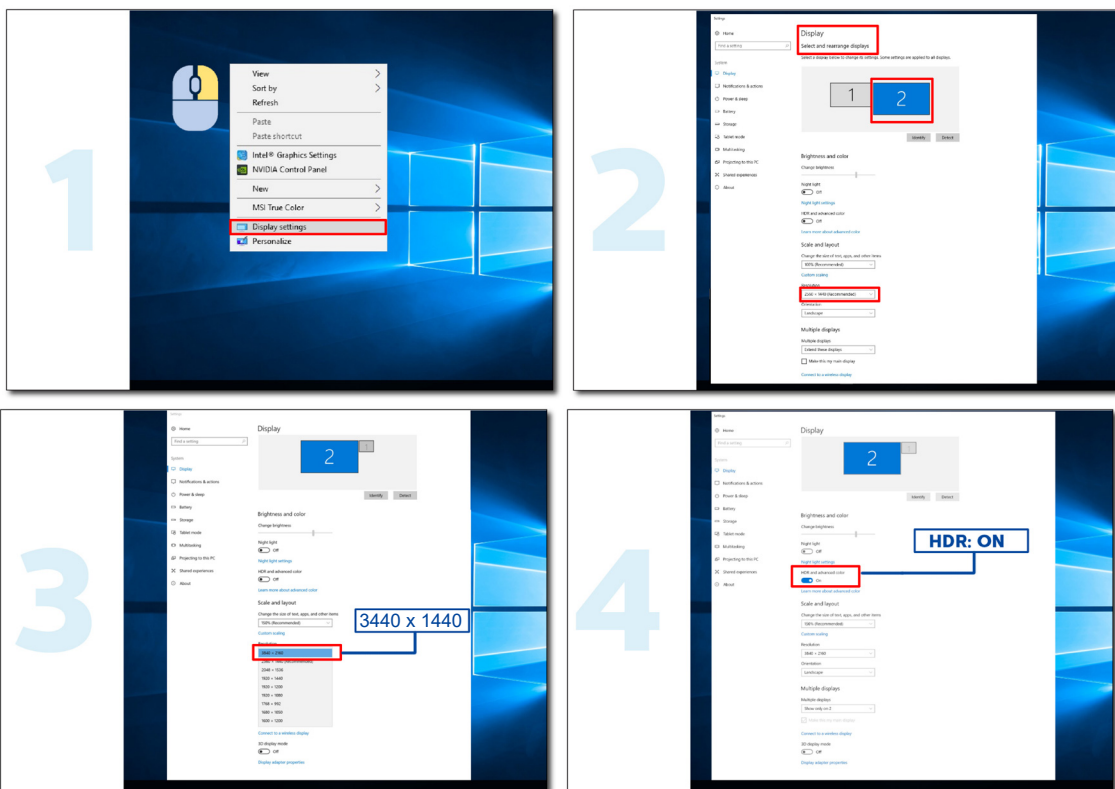
HDR

HDR10 形式の入力信号と互換性があります。

プレーヤーとコンテンツに互換性がある場合、ディスプレイは HDR 機能を自動的に有効にすることがあります。お使いのデバイスとコンテンツの互換性については、デバイスのメーカーとコンテンツのプロバイダーにお問い合わせください。自動有効化機能が不要であれば、HDR 機能に「オフ」を選択してください。

注記：

1. V1703 以前のバージョンの WIN10 については、DisplayPort/HDMI には特別な設定が必要ありません。
2. HDMI インターフェイスのみ利用できます。WIN10 バージョン V1703 の場合、DisplayPort インターフェイスは機能しません。
3. 3440x1440@50Hz/60Hz UHD プレーヤーまたは Xbox-ones/PS4-Pro 専用の PC デバイスでは使用できません。
 - a. ディスプレイの解像度は 3440x1440 に設定されています。HDR はオンにプリセットされています。このような条件下では、画面がわずかに薄暗くなることもあり、HDR が有効になっていることを示します。
 - b. アプリケーションに入った後、解像度を 3440x1440 に変更すると (可能であれば)、最良の HDR 効果を得ることができます。



KVM 機能

KVM とは

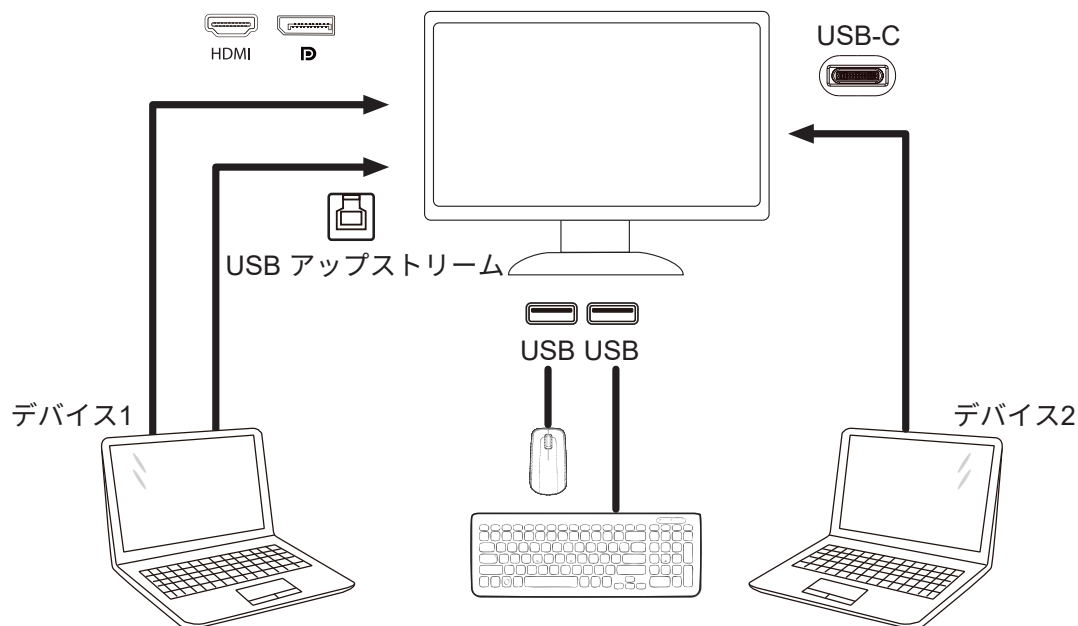
KVM 機能を使用すれば、2 台の PC またはノートパソコン、あるいは PC とノートパソコンを 1 台ずつ、1 台の AOC モニターへ接続し、キーボードとマウス 1 組で 2 台のデバイスを操作できます。OSD メニューの Input Select (入力選択) で入力信号ソースを選択して、操作する PC またはノートパソコンを切り替えます。

KVM の使用方法

ステップ 1: 1 台のデバイス (PC またはノートパソコン) を USB-C でモニターへ接続してください。

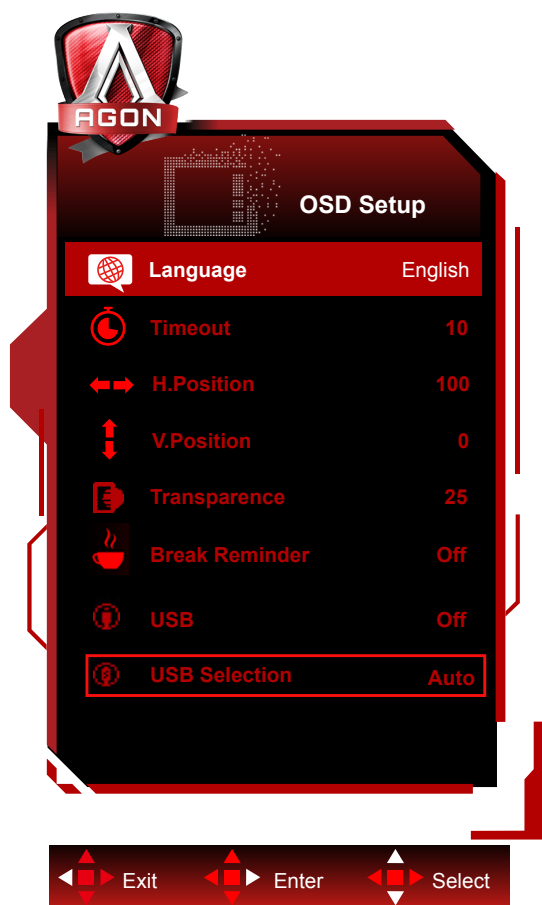
ステップ 2: もう 1 台のデバイスを HDMI または DisplayPort でモニターへ接続してください。続いて、このデバイスを USB アップストリームでもモニターへ接続してください。

ステップ 3: 周辺機器 (キーボードとマウス) を USB ポートでモニターへ接続してください。



注：ディスプレイの外観は図とは異なる場合があります

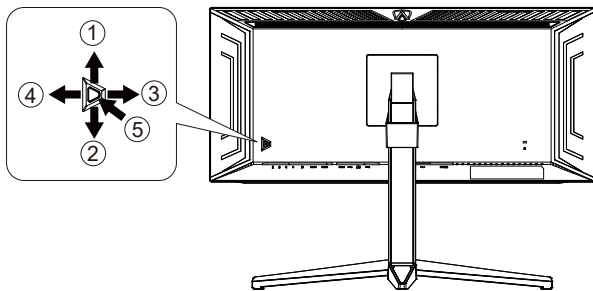
ステップ 4: OSD メニューへ入ります。OSD Setup (OSD 設定) へ進み、USB Selection (USB 選択) タブで Auto (自動)、USB C、USB UP (USB アップストリーム) を選択します。



USB Selection (USB 選択)	機能の説明
Auto (自動)	Auto (自動) は、入力ソースに応じて USB C または USB Up (USB アップストリーム) を選択します。
USB C	Type-C ケーブルを通じて USB ハブ機能を提供します。
USB up (USB アップストリーム)	USB B ケーブルを通じて USB ハブ機能を提供します。

調整する

ホットキー



1	ソース / 上
2	ダイヤルポイント / 下
3	ゲームモード / 左
4	Light FX / 右
5	電源 / メニュー / ENTER

電源 / メニュー / ENTER

電源ボタンを押してモニターをオンにします。

OSDが表示されていない時は、OSDを表示するか、選択を確定する時にこのボタンを押します。約2秒間押してモニターをオフにします。

ダイヤルポイント / 下

OSDがない場合は、[ダイヤルポイント]ボタンを押して、ダイヤルポイントを表示 / 非表示にします。

ゲームモード / 左

OSDがない場合、「左」キーを押し、ゲームモード機能を開きます。次に、「左」または「右」キーを押し、ゲームの種類に合わせてゲームモード (FPS、RTS、レーシング、ゲーマー 1、ゲーマー 2、ゲーマー 3) を選択します。

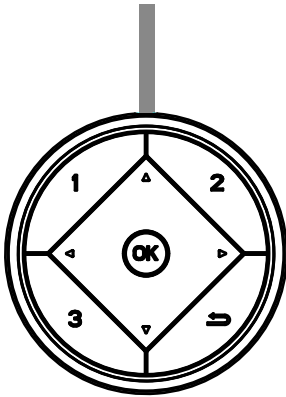
Light FX / 右

OSDが表示されていないときは、「右」キーを押して、Light FX 機能を有効化してください。

ソース / 上

OSDが閉じている時、ソース / 自動 / 上ボタンを押して、ソースホットキー機能にします。

クイックスイッチ



◀:

OSD が表示されていない時、◀ ボタンを押し、ゲームモード機能を開きます。次に、◀ または ▶ キーを押し、ゲームの種類に合わせてゲームモード (FPS、RTS、レーシング、ゲーマー 1、ゲーマー 2、ゲーマー 3) を選択します。

▶:

OSD が表示されていない時、▶ ボタンを押し、シャドウコントロール調整バーを有効にします。◀ または ▶ を押すと、コントラストが調整され、より鮮明にすることができます。

Menu/OK

OSD が表示されていない時は、OSD を表示するか、選択を確定する時にこのボタンを押します。

▲:

OSD が閉じている時、▲ ボタンを押して、ソースホットキーにします。

▼:

OSD がない場合は、[ダイアルポイント] ボタンを押して、ダイアルポイントを表示 / 非表示にします。

1:

1 ボタンを押してゲーマー 1 モードを選択します

2:

2 ボタンを押してゲーマー 2 モードを選択します

3:

3 ボタンを押してゲーマー 3 モードを選択します

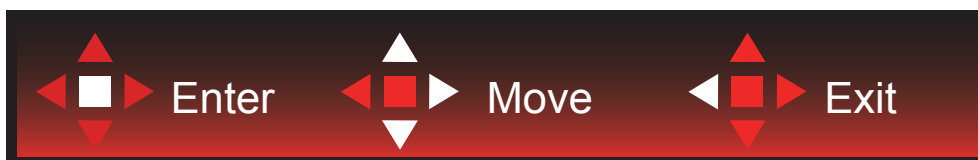


押すと OSD を終了します。

OSD キーガイド (メニュー)



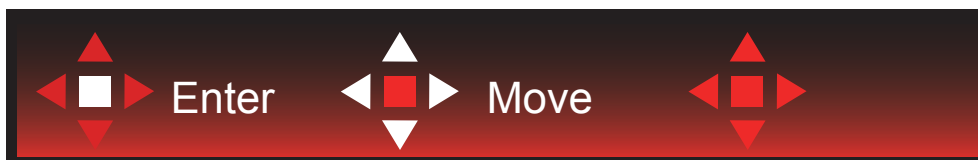
Enter : Enter キーを使用して、次の OSD レベルに入ります
移動 : 左 / 上 / 下キーを使用して、OSD 選択を移動します
終了 : 右キーを使用して、OSD を終了します



Enter : Enter キーを使用して、次の OSD レベルに入ります
移動 : 右 / 上 / 下キーを使用して、OSD 選択を移動します
終了 : 左キーを使用して、OSD を終了します



Enter : Enter キーを使用して、次の OSD レベルに入ります
移動 : 上 / 下キーを使用して、OSD 選択を移動します
終了 : 左キーを使用して、OSD を終了します



移動 : 左 / 右 / 下キーを使用して、OSD 選択を移動します



終了 : 左キーを使用して、OSD を終了し、前の OSD レベルに戻ります
Enter : Enter キーを使用して、次の OSD レベルに入ります
選択 : 上 / 下キーを使用して、OSD 選択を移動します



Enter : Enter キーを使用して、OSD 設定を適用し、前の OSD レベルに戻ります
選択 : 下キーを使用して、OSD 設定を調整します



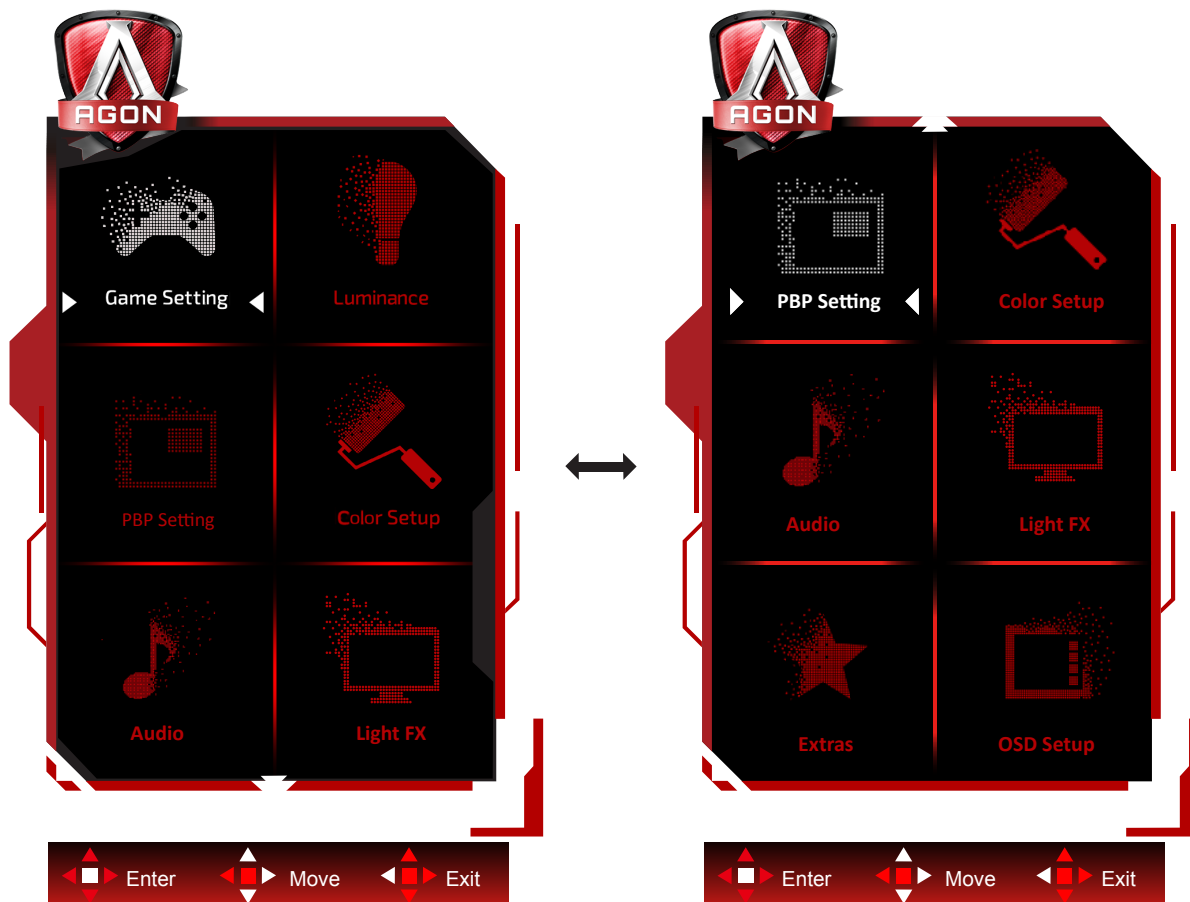
選択：上 / 下キーを使用して、OSD 設定を調整します



Enter：Enter キーを使用して、OSD を終了し、前の OSD レベルに戻ります
選択：左 / 右キーを使用して、OSD 設定を調整します

OSD 設定

コントロールキーの基本的でシンプルな説明です。




- 1). メニューボタンを押して OSD ウィンドウを有効にします。
- 2). キーガイドに従って、OSD 設定を移動または選択（調整）します。
- 3). OSD ロック / ロック解除機能： OSD をロックまたはロック解除するには、OSD 機能が有効になっていない時に下ボタンを 10 秒間長押しします。

メモ：

- 1). 製品に 1 つしか信号入力がない場合、「入力選択」項目は無効になります。
- 2). エコモード（スタンダードモードを除く）、DCR、DCB モードの 3 つの中から 1 つの状態のみを選択できます。

Game Setting (ゲーム設定)



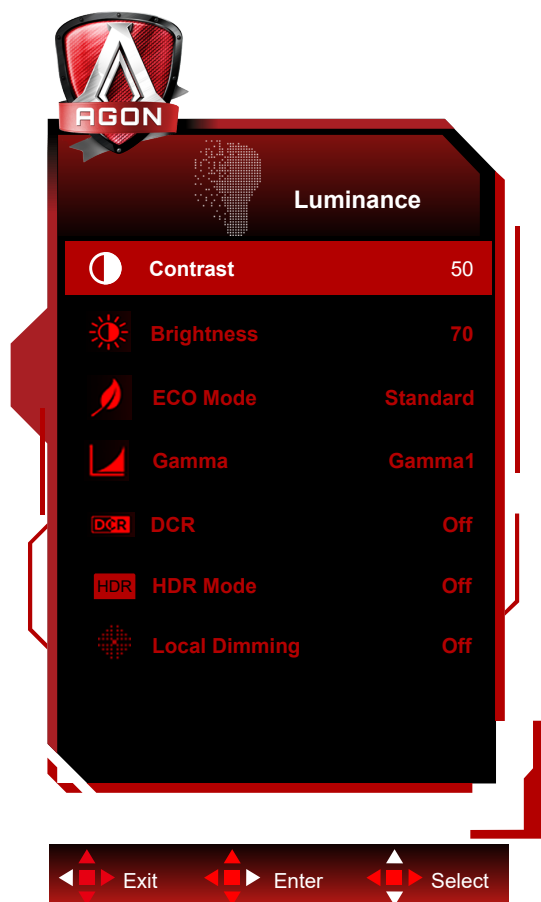
	Game Mode (ゲームモード)	Off (オフ)	スマート画像ゲームによる最適化なし。
		FPS	FPS (一人称シューティング) ゲーム用です。ダークな画面で黒レベルのディテールを改善します。
		RTS	RTS (リアルタイム戦略) 用です。画質を上げます。
		Racing (レーシング)	レーシングゲーム用です。応答時間と彩度を最高度までに高めます。
		Gamer 1 (ゲーマー 1)	ユーザーの好みの設定をゲーマー 1 として保存できます。
		Gamer 2 (ゲーマー 2)	ユーザーの好みの設定をゲーマー 2 として保存できます。
		Gamer 3 (ゲーマー 3)	ユーザーの好みの設定をゲーマー 3 として保存できます。
	Shadow Control (シャドウコントロール)	0-100	シャドウコントロールの既定は 50 です。エンドユーザーは 50 ~ 100 または 0 で調整し、コントラストを増やし、画面を見やすくできます。 1. 映像が暗すぎて細部が見えない場合、50 ~ 100 で調整するとはっきりします。 2. 映像が明るすぎて細部が見えない場合、50 ~ 0 で調整するとはっきり見えます。
	Game Color (ゲームカラー)	0-20	ゲームカラーは、より良い画像を得るために彩度を調整するための 0 ~ 20 レベルを提供します。
	Adaptive-Sync	On/Off (オン / オフ)	Adaptive-Sync を有効化または無効化します。

	オーバードライブ	Off (オフ)/ Weak (弱)/ Medium (中)/ Strong (強)	反応時間を調整します。
	Low input Lag (遅延読み込み)	On/Off (オン/オフ)	フレームバッファをオフにすると、入力遅延が下がります。
	QuickSwitch LED	On/Off (オン/オフ)	QuickSwitch LED を有効化または無効化する。
	フレームカウンタ	オフ/右上/右下/ 左下/左上	垂直方向の周波数表示。 (フレームカウンタ機能は、AMD グラフィックカードと共に使用する場合にのみ動作します。)
	HDMI1	120Hz/170Hz	ゲーム機や DVD プレーヤーを接続する場合は、HDMI1 を 120Hz に設定してください。
	HDMI2	120Hz/170Hz	ゲーム機や DVD プレーヤーを接続する場合は、HDMI2 を 120Hz に設定してください。

注:

「明るさ」の「HDR モード」または「HDR」が非オフ状態に設定されている場合、「ゲームモード」、「シャドウコントロール」、「ゲームカラー」の項目は調整できません。

Luminance (輝度)



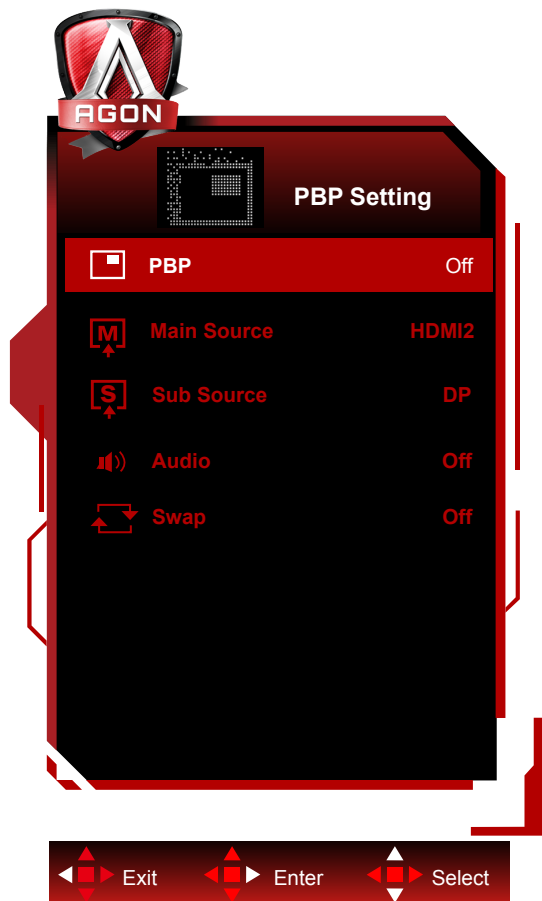
	Contrast (コントラスト)	0-100	画面のコントラストを調整します。	
	Brightness (明るさ)	0-100	画面の明るさを調整します。	
	Eco mode (モード設定)	Standard(スタンダード)		スタンダードモード
		Text(テキスト)		テキストモード
		Internet(インターネット)		インターネットモード
		Game(ゲーム)		ゲームモード
		Movie(映画)		映画モード
		Sports(スポーツ)		スポーツモード
		Reading(読書)		読書モード
		Uniformity		Uniformityモード
	Gamma (ガンマ)	Gamma1(ガンマ1)		ガンマ1に調整します
Gamma2(ガンマ2)			ガンマ2に調整します	
Gamma3(ガンマ3)			ガンマ3に調整します	
DCR	Off(オフ)/On(オン)		ダイナミック・コントラスト機能を停止/起動します。	

	HDR	Off (オフ)	使用要件に応じて、HDR プロファイルを設定します。 注： HDR が検出されると、調整のために HDR オプションが表示されます。
		DisplayHDR	
		HDR Picture (HDR 写真)	
		HDR Movie (HDR 映画)	
		HDR Game (HDR ゲーム)	
	HDR Mode	Off (オフ)	画像の色とコントラストを最適化します。これは、HDR 効果の表示をシミュレートします。 注： HDR が検出されない場合、調整のために HDR モード オプションが表示されます。
		HDR Picture (HDR 写真)	
		HDR Movie (HDR 映画)	
		HDR Game (HDR ゲーム)	
	Local Dimming	Off (オフ)/On (オン)	ゾーン調光を無効または有効にします。

注：

- 1) 「HDRモード」が非OFF状態の場合、「コントラスト」、「明るさプロファイル」、「ガンマ」の項目は調整できません。
- 2) 「HDR」が非OFF状態の場合、「コントラスト」「明るさ」「明るさプロファイル」「ガンマ」「DCR」の項目は調整できません。
- 3) 液晶パネルの光拡散効果とバックライト領域の調光原理のため、特定の画面の窓の縁や移動物体の縁に軽いめまいや瞬間的な明るさの開き現象が発生することがあります。これは Mini LED バックライト液晶パネルの物理的特性で、故障現象ではありません。安心して使用してください。この現象を軽減または解消するには、OSD メニューから「領域調光」(local dimming) をオフにすることを選択します。

PBP Setting (PBP 設定)



	PBP	Off(オフ) / PBP	PBP または PBP の無効または有効を切り替えます。
	Main Source (メインソース)	HDMI1/HDMI2/ DP/USB C	メインの画面ソースを選択します。
	Sub Source (サブソース)	HDMI1/HDMI2/ DP/USB C	サブ画面のソースを選択します。
	Audio(音声)	On (オン): PBP 音声 Off(オフ): メイ ン音声	オーディオセットアップの無効または有効を切り替えま す。
	Swap(交換)	On (オン): 交換 Off(オフ): 非動 作	画面ソースを交換します。

注：

「明るさ」の「HDR」が非 OFF 状態に設定されている場合、「PBP 設定」のすべての項目を調整することはできません。
1) PBP を有効にした場合、メイン画面 / サブ画面の入力ソースの互換性を次の表に示します。

PBP		Main Source (メインソース)			
		HDMI1	HDMI2	DP	USB C
Sub Source (サブソース)	HDMI1	V	V	V	V
	HDMI2	V	V	V	V
	DP	V	V	V	V
	USB C	V	V	V	V

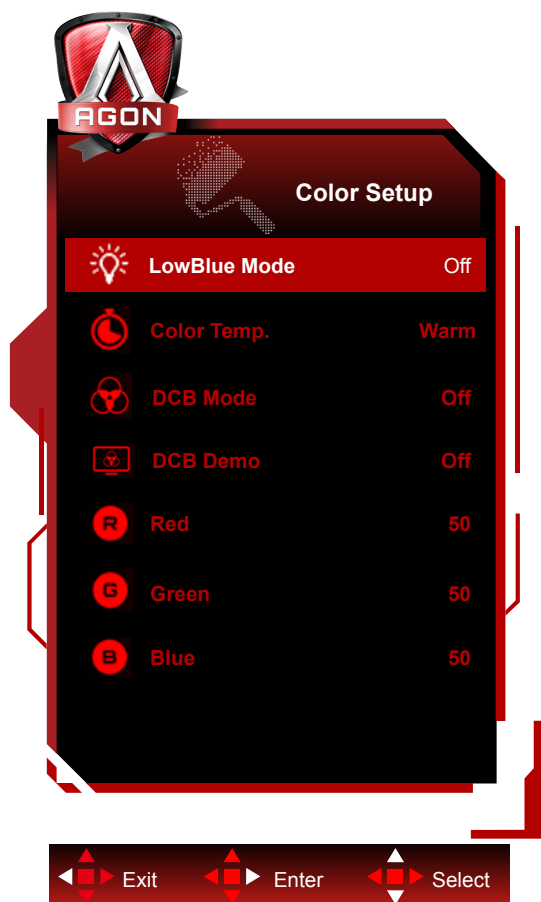
注：

PBP が有効になっている場合、DP / HDMI / USB C 信号ソースは 1720x1440@165Hz の最大解像度をサポートします。

* PxP カラー関連の調整は、メインからのみ操作でき、サブからは操作できません。

そのため、メインとサブのカラーは異なります。

Color Setup (色設定)



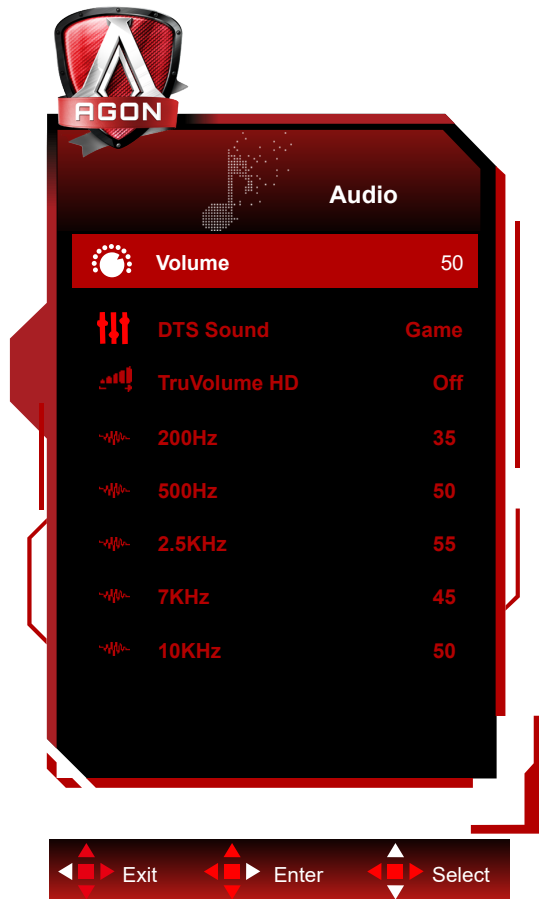
	LowBlue Mode(ローブルーライト)	オフ/マルチメディア/インターネット/オフィス/読書	色温度を調整し、ブルーライトの波を下げます。	
	Color Temp. (色温度)	Warm(暖色)		暖色設定。
		通常		自然色設定。
		Cool(寒色)		寒色設定。
		sRGB		sRGB 設定。
		User (ユーザー設定)		赤色温度微調整。 緑色温度微調整。 青色温度微調整。
	DCB モード	Off		DCB モードを無効にします。
		Full Enhance (フルエンハンス)		Full Enhance モードを有効にします。
		Nature Skin (ナチュラルスキン)		Nature Skin モードを有効にします。
		Green Field (グリーンフィールド)		Green Field モードを有効にします。
		Sky-Blue (スカイブルー)		Sky-Blue モードを有効にします。
		Auto Detect (自動検出)		Auto Detect モードを有効にします。

	DCB Demo (DCB デモ)	オン/オフ	左画面デモオン/オフ。
	Red(赤)	0-100	デジタル登録から赤ゲイン。
	Green(緑)	0-100	デジタル登録から緑ゲイン。
	Blue(青)	0-100	デジタル登録から青ゲイン。

注：

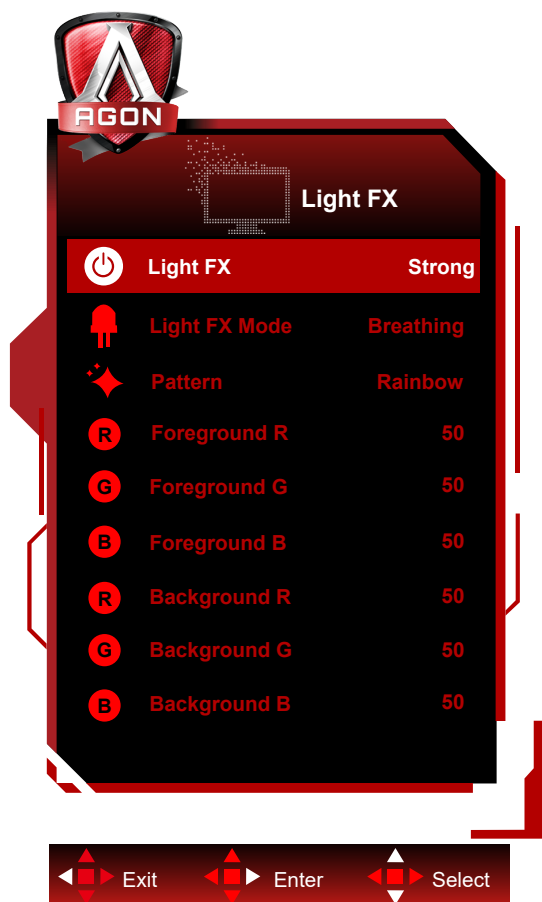
「明るさ」の「HDRモード」または「HDR」が非オフ状態に設定されている場合、「色設定」のすべての項目を調整することはできません。

Audio (オーディオ)



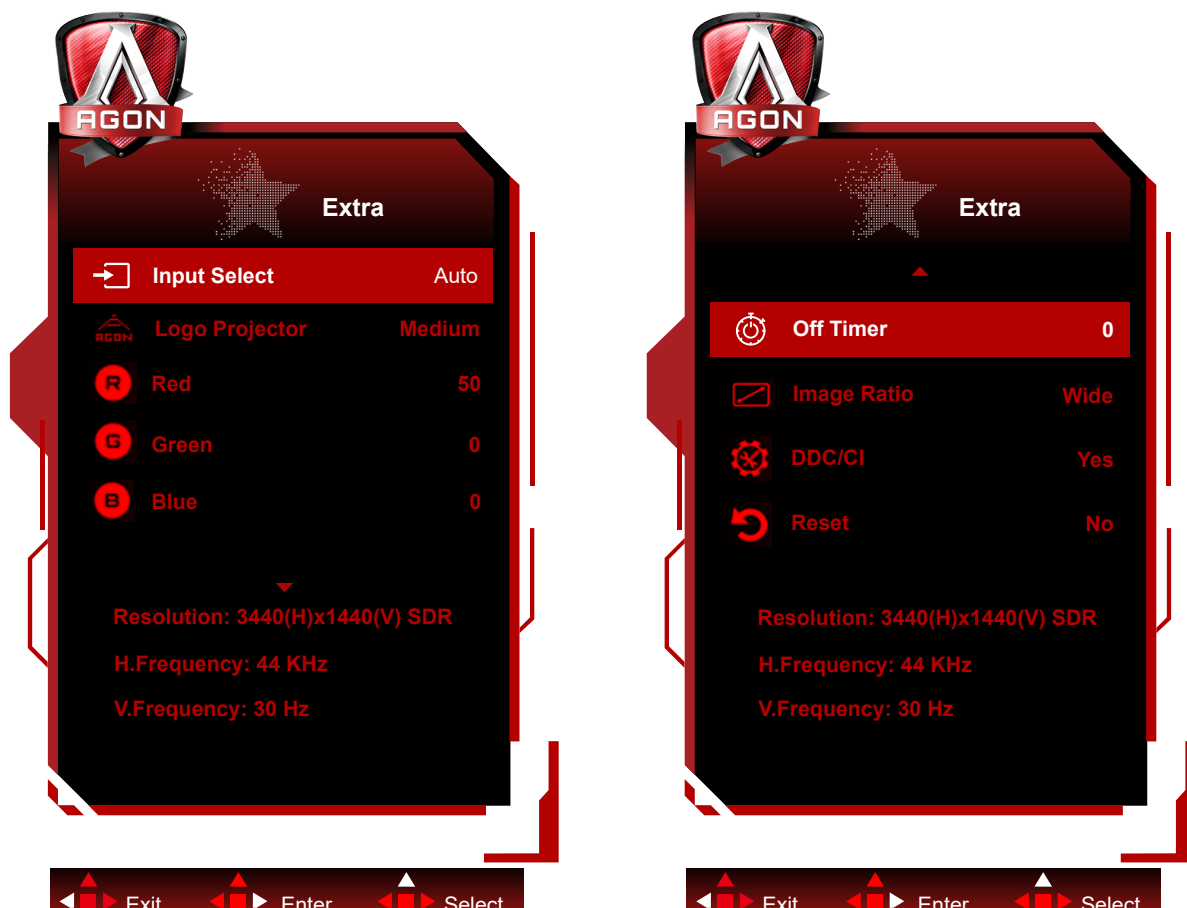
	音量	0 ~ 100	音量調節。
	DTS サウンド	オフ/ゲーム/ロック/クラシック/ライブ/シアター	"DTS Sound (DTS サウンド) モードを選択します。 注:モードを切り替えるために、最大2秒かかる場合があります。"
	TruVolume HD	オン/オフ	TruVolume HD を有効化または無効化します。
	200Hz	0-100	低周波数ベースのオーディオ、または、トーンのコードのルートオーディオ周波数。
	500Hz	0-100	主に、ボーカル(例えば、歌唱、朗読)を表現するために使用され、ボーカルの厚みおよび強さを強化します。
	2.5KHz	0-100	この周波数には、強い透過力があり、サウンドの明るさと明確さを改善することができます。
	7KHz	0-100	ボーカルの明確さを強化します。
	10KHz	0-100	音楽の調子の高い領域は、サウンドの高周波数性能に対して敏感です。

Light FX



	Light FX	オフ / 低 / 中 / 強	Light FX の強度を選択してください。
	Light FX モード	オーディオ 1 / オーディオ 2 / 固定 / ダークポイントスイープ / 段階シフト / スプレッドフィル / ドリップフィル / スプレッドドリップフィル / フリージング / ライトポイントスイープ / ズーム / レインボー / ウォーターウェーブ / 点滅 / デモ	Light FX モードを選択します。
	パターン	Red / Green / Blue / レインボー / ユーザー定義	Light FX パターンを選択します。
	Foreground R	0 ~ 100	パターンがユーザー定義に設定されているとき、Light FX フォアグラウンドカラーを調整することができます。
	Foreground G		
	Foreground B		
	Background R	0 ~ 100	パターンがユーザー定義に設定されているとき、Light FX バックグラウンドカラーを調整することができます。
Background G			
Background B			

Extra (その他)



	Input Select (入力選択)	自動 / HDMI1/HDMI2 / DP/USB C	入力信号の自動検出。
	Logo Projector (ロゴプロジェクター)	オフ / 低 / 中 / 強	投影ロゴ機能です。
	Red (赤)	0 ~ 100	デジタル登録から赤ゲイン。
	Green (緑)	0 ~ 100	デジタル登録からの緑ゲイン。
	Blue (青)	0 ~ 100	デジタル登録からの青ゲイン。
	Off Timer (オフタイマー)	0 - 24 時間	オフタイマーの時間を設定。
	Image Ratio (画像比)	イド /4:3/1:1/17" (4:3)/ 19" (4:3)/19" (5:4)/19" ワイド (16:10)/21.5" ワイド (16:9)/ 22" ワイド (16:10)/23" ワイド (16:9)/23.6" ワイド (16:9)/ 24" ワイド (16:9)/ 27" ワイド (16:9)	ワイドスクリーンまたは の表示フォーマットを選択。
	DDC/CI	はい / いいえ	DDC/CI サポート機能の OK。
Reset (リセット)	はい / いいえ	リセットメニューは既定値。	

注：

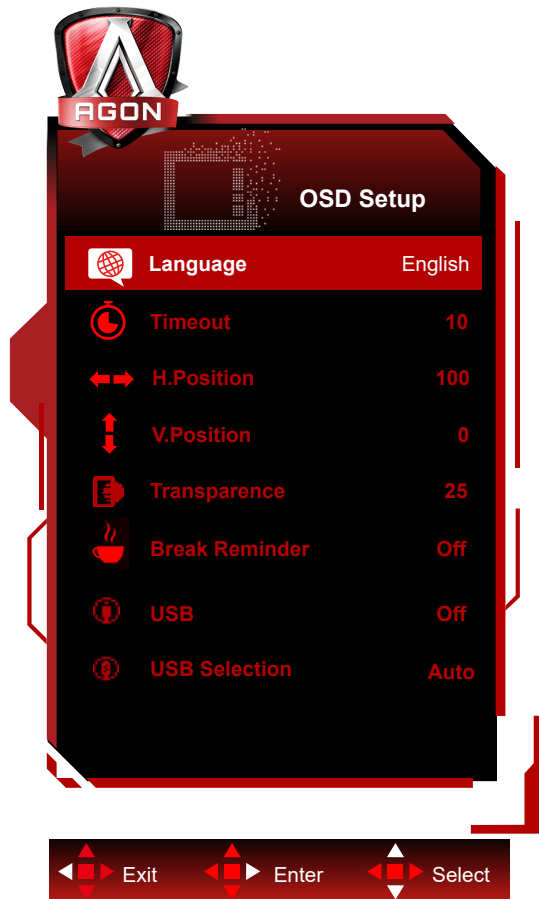
[1]：デバイスが USB C（DP Alt）機能をサポートする必要がある。

初回使用時または OSD メニューリセット操作後、USB C（DP Alt）機能はデフォルトでオフになっており、以下のいずれかの方法で再起動可能です。

1) モニタ累計スイッチ機 2 回。

2) OSD メニューの「OSD 設定」で「USB」オプションをオフにしないように設定します。

OSD Setup (OSD 設定)



	Language (言語)		OSD 言語を選択します。
	Timeout (表示時間設定)	5-120	OSD の表示時間を調節します。
	H. Position (水平位置)	0-100	OSD の水平位置を調整します。
	V. Position (垂直位置)	0-100	OSD の垂直位置を調整します。
	Transparency (透明度)	0-100	OSD の透明度を調整します。
	Break Reminder (休憩 リマインダー)	オン/オフ	ユーザーが1時間以上続けて作業する場合、休止のお知らせ。
	USB ^[1]	オンまたは オフ	USB のバージョンを選択するか、USB 機能をオフにします。
	USB Selection (USB の選択)	自動 / USB C / USB アップ	USB データアップロードパスを選択します。

[1]:USB C (DP Alt) (HBR3) 信号入力で、「USB」が「2.0」に設定されている場合、最大解像度は3440x1440@170Hzです。

LED インジケータ

状態	LED 色
フルパワーモード	白
アクティブオフモード	オレンジ

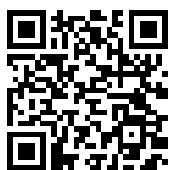
トラブルシューティング

問題&質問	回答
電源 LED がオンにならない	電源ボタンがオンになっており、電源コードがアースされたコンセントとモニターに適切に接続されているか確認してください。
画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードは適切に接続されていますか？ 電源コードの接続と電源装置を確認してください。 ●ケーブルは正しく接続されていますか？ (HDMI ケーブルを使用して接続済み) HDMI ケーブル接続を確認します。 (DP ケーブルを使用して接続) DP ケーブルの接続を確認してください。 * HDMI/DP 入力はすべてのモデルで利用できません。 ●電源がオンになっている場合、コンピュータを再起動して表示される最初の画面（ログイン画面）を確認してください。 最初の画面（ログイン画面）が表示されたら、適切なモード（Windows 7/8/10 の場合はセーフモード）でコンピュータを起動し、ビデオカードの周波数を変更します。 （「最適解像度の設定」を参照してください） 初期画面（ログイン画面）が表示されない場合、サービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。 ●画面に「入力がサポートされていません」が表示されていますか？ このメッセージは、ビデオカードからの信号がモニターで適切に処理できる最大解像度と周波数を超えているときに表示されます。 モニターが適切に処理できる最大解像度と周波数に調整してください。 ● AOC モニタードライバがインストールされていることを確認してください。
画像がぼやけており、ゴーストシャドウの問題がある。	<p>コントラストと明るさの設定を調整してください。</p> <p>押すと、自動調整されます。</p> <p>延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認してください。モニターを背面のビデオカード出力コネクタに直接差し込むことを推奨します。</p>
写真が上下に揺れる、ちらつき、写真に波形パターンが表示される	<p>モニターに電氣的に干渉している可能性のある電気機器をモニターからできるだけ遠ざけます。</p> <p>使用している解像度でモニターに可能な最大リフレッシュレートを使用してください。</p>
モニターがアクティブオフモードから出られない	<p>コンピュータの電源スイッチは、オンの位置になければなりません。</p> <p>コンピュータのビデオカードは、スロットにぴったりとフィットする必要があります。</p> <p>モニターのビデオケーブルがコンピュータに適切に接続されているか確認します。モニターのビデオカードを検査し、曲がっているピンがないことを確認してください。</p> <p>キーボードの CAPS LOCK キーを押してコンピュータが操作できることを確認したら、CAPS LOCK の LED を確認してください。CAPS LOCK キーを押した後、LED はオンまたはオフになる必要があります。</p>
原色（赤、緑、青）の1つが欠けている	モニターのビデオカードを検査し、損傷しているピンがないか確認してください。モニターのビデオケーブルがコンピュータに適切に接続されているか確認します。
画面の画像が中心に表示されない、またはサイズが適切でない	水平位置と垂直位置を調整するか、ホットキー（自動）を押してください。
画像の色に欠陥がある（白が白く見えない）	RGB カラーを調整するか、必要な色温度を選択してください。
画面が水平または垂直に乱れる	Windows 7/8/10 停止モードを使用して、クロックと位相を調整してください。押すと、自動調整されます。

仕様

一般仕様

パネル	モデル名	AG344UXM		
	ドライビングシステム	TFT カラー LCD		
	表示可能画像サイズ	86.7 cm 対角		
	画素ピッチ	0.2325mm(横) x 0.2325mm(縦)		
	表示色	約 1.07B 色 ^[1]		
その他	水平スキャン範囲	30k~255kHz		
	水平スキャンサイズ(最大)	799,8 mm		
	垂直スキャン範囲	48-170Hz		
	垂直スキャンサイズ(最大)	334,8 mm		
	最適プリセット解像度	3440 x 1440@60Hz		
	最大解像度	3440 x 1440@170Hz ^{[2][3][4]}		
	プラグアンドプレイ	VESA DDC2B/CI		
	電源	100-240V~, 50/60Hz,4A		
	電力消費	標準(デフォルトの明るさとコントラスト)	142 W	
		最大(明るさ = 100、コントラスト = 100)	≤ 445W	
スタンバイモード		0.5W (標準)		
物理的特性	USB C パワーデリバリー	USB PD バージョン 3.0 最大 90W (5V/3A、9V/3A、10V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/4.5A)		
	接続タイプ	HDMIx2 / DP / USB C / USBx4 / イヤホン出力 / マイク入力 / クイックスイッチキーパッド		
	信号ケーブルの種類	取り外し可能		
環境	温度	操作時	0°C ~ 40°C	
		非操作時	-25°C ~ 55°C	
	湿度	操作時	10% ~ 85% (非結露)	
		非操作時	5% ~ 93% (非結露)	
	高度	操作時	0 ~ 5,000 m (0 ~ 499,993.92 フィート)	
		非操作時	0 ~ 12192m (0 ~ 40000 フィート)	



[1]: この製品は最大表示色数 10.7 億をサポートし、条件を次のように設定します (一部のグラフィックカードの出力制限により、異なる場合があります) :

Input signal version Output color format state The output resolution The rate of color depth	HDMI 2.1		DP1.4		USB C @USB 3.2Gen1	USB C @USB 2.0	USB C @USB 3.2Gen1	USB C @USB 2.0
	YCbCr422 YCbCr420	YCbCr444 RGB	YCbCr422 YCbCr420	YCbCr444 RGB	YCbCr422 YCbCr420		YCbCr444 RGB	
	WQHD 170Hz 10 bpc	OK	OK	OK	OK	\	OK	\
WQHD 165Hz 10 bpc	OK	OK	OK	OK	\	OK	\	\
WQHD 144Hz 10 bpc	OK	OK	OK	OK	\	OK	\	OK
WQHD 144Hz 8 bpc	OK	OK	OK	OK	OK	OK	\	OK
WQHD 120Hz 10 bpc	OK	OK	OK	OK	\	OK	\	OK
WQHD 120Hz 8 bpc	OK	OK	OK	OK	OK	OK	\	OK
WQHD 100Hz 10 bpc	OK	OK	OK	OK	OK	OK	\	OK
WQHD 100Hz 8 bpc	OK	OK	OK	OK	OK	OK	\	OK
Low resolution 10 bpc	OK	OK	OK	OK	OK	OK	\	OK
Low resolution 8 bpc	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK

注：[OSD 設定] メニューでは、[USB] フィールドが [3.2Gen1] または [2.0] に設定されています。

[2]：解像度 3440x1440@170Hz がオーバークロックされています。オーバークロック処理中にモニターにエラーが発生した場合は、リフレッシュレートを 165Hz に調整してください。

[3]：3440x1440 @ 170Hz を達成するには、DP は DSC をサポートするグラフィックカードを使用する必要があります。DSC サポートについては、グラフィックカードの製造元の Web サイトにアクセスしてください。

[4]：USB C スクリーンプロジェクション、モバイルデバイスは USB C (DP Alt) 機能をサポートする必要があります。USB C (DP Alt) (HBR3) 信号を入力し、「USB」を「2.0」に設定した場合、最大解像度は 3440x1440@170Hz になります。

プリセットディスプレイモード

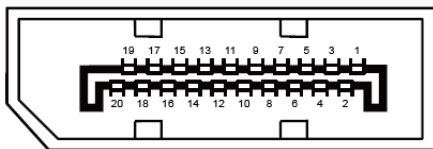
標準	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA	640x480@60Hz	31.469	59.94
	640x480@72Hz	37.861	72.809
	640x480@75Hz	37.5	75
	640 x 480@100Hz	50.313	99.826
SVGA	800x600@60Hz	37.879	60.317
	800x600@72Hz	48.077	72.188
	800x600@75Hz	46.875	75
	800 x 600@100Hz	62.76	99.778
XGA	1024x768@60Hz	48.363	60.004
	1024x768@70Hz	56.476	70.069
	1024x768@75Hz	60.023	75.029
	1024 x 768@100Hz	80.448	99.811
SXGA	1280x1024@60Hz	63.981	60.020
	1280x1024@75Hz	79.976	75.025
WXGA+	1440x900@60Hz	55.935	59.887
	1440x900@60Hz	55.469	59.901
WSXGA	1680x1050@60Hz	65.290	59.954
	1680x1050@60Hz	64.674	59.883
HD	1920x1080@60Hz	67.5	60
WQHD	3440x1440@60Hz	89.819	59.973
	3440x1440@75Hz	111.875	74.983
	3440x1440@100Hz	150.972	99.982
	3440X1440@120Hz	181.2	120
	3440X1440@144Hz	214.56	144
	3440x1440@165Hz	244.36	165
	3440x1440@170Hz	251.771	170
IBM MODE			
DOS	640x350@70Hz	31.469	70.087
	720x400@70Hz	31.469	70.087
MAC MODE			
VGA	640x480@67Hz	35.000	66.667
SVGA	832x624@75Hz	49.725	74.551
XGA	1024x768@75Hz	60.241	74.927
QHD	2560x1440@120Hz	182.996	119.998
QHD	2560x1440@144Hz	222.056	143.912
QHD	2560x1440@165Hz	242.551	165
QHD	2560x1440@170Hz	249.901	170.001

ピン割り当て



19 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	TMDS データ 2+	9.	TMDS データ 0-	17.	DDC/CEC アース
2.	TMDS データ 2 シールド	10.	TMDS クロック +	18.	+5V 電力
3.	TMDS データ 2-	11.	TMDS クロックシールド	19.	ホットプラグ検出
4.	TMDS データ 1+	12.	TMDS クロック -		
5.	TMDS データ 1 シールド	13.	CEC		
6.	TMDS データ 1-	14.	予約済み (デバイス上に N.C.)		
7.	TMDS データ 0+	15.	SCL		
8.	TMDS データ 0 シールド	16.	SDA		



20 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	ML_Lane 3 (n)	11	アース
2	アース	12	ML_Lane 0 (p)
3	ML_Lane 3 (p)	13	CONFIG1
4	ML_Lane 2 (n)	14	CONFIG2
5	アース	15	AUX_CH(p)
6	ML_Lane 2 (p)	16	アース
7	ML_Lane 1 (n)	17	AUX_CH(n)
8	アース	18	ホットプラグ検出
9	ML_Lane 1 (p)	19	リターン DP_PWR
10	ML_Lane 0 (n)	20	DP_PWR

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

このモニターには、VESA DDC STANDARD に準拠した VESA DDC2B 機能が装備されています。これにより、モニターはホストシステムにその ID を通知し、また使用されている DDC のレベルによっては、その表示機能について追加情報を伝えることもできます。

DDC2B は、I2C プロトコルに基づく双方向データチャンネルです。ホストは DDC2B チャンネル経由で EDID 情報を要求できます。



DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited からのライセンスに基づき製造されています。DTS、その記号、& DTS およびその記号は合わせて、DTS, Inc の登録商標であり、DTS Sound は DTS, Inc の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.